

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	健康福祉センター東楽園(ゆーぱる ひざこ)
(2)施設概要	①所在地 さいたま市見沼区膝子984番地 ②施設の設置目的 市民の健康の維持及び増進を図るとともに市民相互のふれあいと交流を促進することにより、広く福祉の向上に寄与するため。 ③施設の概要 開設年月 令和7年4月1日 構造規模 鉄筋コンクリート造 平屋建 延床面積4445.13㎡ 主な施設 温水プール、温浴施設、フィットネスルーム、屋内運動場、飲食コーナー、集会室、図書室、教養娯楽室、音楽室、(屋内・屋外)共用スペース等
(3)指定管理者	さいたまユニバーサル・ウェルネスJV
(4)指定期間、指定管理料	①指定期間 令和7年4月1日～令和10年3月31日 ②指定管理料 令和7年度 179,589千円
(5)施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用者数 ・235,144人 (専用利用を含む) ・主な施設の稼働状況 (営業日数308日) ・屋内運動場 利用コマ数:2,727コマ 稼働率:74% 利用人数:10,456人 ・集会室 利用コマ数:436コマ 稼働率:24% 利用人数:3,306人 ◇業務実施状況 ・利用者受付業務 ・事前予約に基づく貸出管理業務 ・施設維持管理業務 ・仕様書および事業計画書に基づく各種業務 ②維持管理業務の状況 ・建築設備検査 (年1回) ・防火設備検査 (年1回) ・消防用設備保守点検 (年2回) ・自動制御装置保守点検 (年1回) ・ボイラー設備保守点検 (年1回) ・自家用電気工作物保安管理 (年6回) ・浄化槽保守点検 (週1回) ・浴槽水質検査 (年2回) ・プール水質検査 (月1回) ・施設消毒 (年2回) 等 ③その他の業務 ・飲食コーナー(小梅キッチン) ・スポーツ教室(ヨガ教室、太極拳教室、水泳教室、アクアビクス教室等) ・物販販売(プール用品、お風呂用品、野菜など)

(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	39,159千円	-	人件費	94,042千円	-
	指定管理料	179,589千円	-	事務費	89,283千円	-
	雑収入	578千円		事業費	41,752千円	-
	【自主事業】					
	収入	19,081千円	-	支出	16,403千円	-
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への 対応	・バスルートの見直しを行い、新たに春野ルートの運行を開始した。 ・プール内の放送が聞き取りにくいという声を受け、ボード掲示により視覚的に分かる案内を開始した。 ・異性の保護者ごと利用する子どもなどが安心して着替えができるよう、監視員室内に多目的更衣室としてポップアップテントを設置した。 ・土日祝日及び学校休業期間中は音楽室の一室を家族連れ・子供の専用利用としたことにより、若年層の利用拡大に繋がった。					
(8)その他						

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
健康寿命の延伸事業	ヨガ、太極拳や水泳をはじめとしたスポーツ教室を121教室(年間446回)開催したほか、いきいき百歳体操や転倒予防などの介護予防教室、保健師による各種講座を実施し、市民の健康寿命の延伸に寄与した。
いきがいがづくり事業	映画で学ぶ巡る旅(映像上映と歴史解説)、パッチワーク教室、ネイル講座、うどん作り体験教室、寄席といった多様な体験型・参加型事業を実施し、利用者の趣味活動や交流の促進を図った。
教養・学習の支援事業	終活講座やスマホ教室、消費生活講座、地域歴史講座など、地域住民の生活に役立つ多様な講座を開催したほか、さいたま市中学生職場体験事業「未来くるワーク体験」を受け入れるなど、幅広い世代に向けた学習機会を提供するとともに、地域課題や日常生活上の不安に対応した知識の普及を図ることができた。
地域や世代間の交流事業	地元企業や七里中学校と連携して開催したゆーばるフェスタ2025は盛況であり、地元膝子地区農家と連携して開始した野菜販売についても、利用者から好評であった。このような地域交流・世代間交流の機会を設けることにより、引き続き、地域の元気を創出していく。
市民相互のふれあい事業	健康麻雀教室や折り紙教室のほか、小学生を対象とした「書初め教室とむかし遊び体験」を開催した。いずれの事業も、参加者同士が自然に会話を交わしながら楽しむ様子が見られ、市民の新たな交流機会を創出するとともに、地域コミュニティの活性化につなげることができた。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」
・運動施設に加えて飲食コーナーや地元野菜販売など多様な機能を併せ持つことから、高齢者を中心にリピーターの獲得が進んでおり、地域の皆様の生きがいづくりや健康増進を支える拠点として定着してきている。
・スポーツ教室や各種講座のほか、地域と連携したイベント(ゆーぱるフェスタ2025など)を開催し、地域の元気を創出している。
・春野地区への新規バスルートの開設に加え、館内滞在中のバス利用者に向けた各ルートのチラシ配布や、出発時刻を案内する館内放送をITを活用して行うなど、利用者の利便性向上と来館促進に努めており、より広い地域から来館いただける環境づくりを進めている。
・今後も、ご利用者からのご意見を踏まえながら、市民サービスの向上及び利用促進に取り組んでいく。

「経費の削減」
・施設内の各部屋の空調を事務所にて集中管理をおこない、適正な温度を保ち光熱費抑制に努めている。
・電気料金の削減を図るため、電力供給事業者の見直しに取り組み、令和8年4月より変更することとした。

「適正な管理運営の確保」
・適宜、施設設備の保守点検を行っているほか、何らかの不具合が生じた際には、迅速に設備業者への確認や手配を行うなどして、安心して施設をご利用いただけるよう対応している。
・駐車場内の車両動線については、運営開始当初、想定どおりの走行がされず、事故につながる危険性が見受けられたことから、カラーコーンやバーによる区画整理、案内板の設置等を行い、導線を明確化した。
・消防訓練開催時には、通常の避難・通報・消火訓練に加え、訓練後にプールでの救急対応訓練を実施した。また、消防設備の使用方法についてもレクチャーを受け、職員の理解を深めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価 (B) ※A~D

1 項目別の評価

① 市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進に対する評価

・多種多様な教室・講座を実施することにより、利用者間の交流や幅広い世代の利用を促進しているほか、地域と連携したイベント等を開催し、地域の賑わいを創出している点を評価した。

② 経費の削減に対する評価

・電気料金の削減を図るため、電力供給事業者の見直しに取り組んだ点を評価した。

③ 適正な管理運営の確保に対する評価

・利用者からのご意見等を踏まえて、安全安心に施設を利用できるよう、運営改善に努めている点を評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めてください。